大会報告（周防大島スカイカップ2018）

山口県ハング・パラグライディング連盟

山野　亨

大会名：周防大島スカイカップ2018

日程：2018年9月15日（土）〜16日（日）

成績：ハンググライディング　エキスパートクラス

 １位：園田　結也

 ２位：中川　大志

 ３位：崎山　和弘

　　　パラグライディング　エキスパートクラス

 １位：足苅　良彦

 ２位：三宅　悠生

 ３位：児島　彰

総評：

予報では日曜日はフライトできると期待したが、両日ともフライトできず、大会は成立しなかった。

大会初日は、降雨の予報もあったが午前中のフライトを期待して登山した。しかし、山頂付近の雲が取れず、雨も降り始めたので、競技をキャンセルした。

二日目は、天気は良かったが、周防大島エリアが荒れる北風ベースであり、コンディションが好転する可能性が低いと判断し、競技をキャンセルした。

フライトはできなかったが、体育館の中の競技により、順位を決定した。

ハンググライダーは、大型扇風機を上に向けて疑似サーマルを発生させ、体育館の２階から紙飛行機を飛ばして、滞空時間を競う競技を実施した。

パラグライダーは、アキュラシー用マットにボールを投げて、ボールの着地精度を競う競技を実施した。

今年のパーティーも、竜崎温泉併設の食事処で開催し、温泉・宴会でおおいに盛り上がった。選手間の親睦をはかることができ、とても良い大会になった。

以上